

1 顔面神経の解剖学

顔面神経(Facial Nerve)とは第 VII の脳神経で主に顔の表情を作る筋肉(表情筋)を支配している

表情筋を支配する顔面神経は、側頭枝・頬骨枝・頬筋枝・下顎縁枝の四つに分かれる

- ・顔面神経四つの枝が下記の筋肉を支配している

側頭枝→前頭筋など:額にしわを寄せる

頬骨枝→眼輪筋など:眼を閉じる

頬筋枝→口輪筋、大/小頬骨筋など:口唇の開閉、口角の持ち上げ

下顎縁枝→オトガイ筋など:下唇を上上げる

2 西洋医学の治療方法

- ・ Bell 麻痺、Ramsay Hunt 症候群(RHS)の場合、薬物治療が基本
- ・ 顔面神経麻痺後遺症に対してはボツリヌス毒素療法、形成外科的治療がある

3 鍼灸治療方法

顔面神経麻痺は中国語で「面癱(めんたん)」と言う。鍼灸で治療することは定番になっている。顔面神経麻痺に対して中医の弁証では下記の五つの「証」を考えている

- 1 風痰阻絡:胸脘痞悶、痰涎咯出、舌苔白膩、脈弦滑
- 2 陰虚陽亢生風:眩暈、頭痛、耳鳴、頬潮熱、腰膝がだるい、心煩、多夢、舌質紅、舌苔少、脈細数
- 3 肝鬱化火生風:眩暈、頭痛、イライラして落ち着かない、怒りっぽい、口苦、脇肋部の張りや痛み、便秘、小便が赤い、舌質紅、舌苔黄、脈弦数
- 4 気滯血瘀:うつ、脇肋部の張りや痛み、舌質紫暗や紫斑、脈弦洪
- 5 気血不足:顔色萎黄や蒼白、口唇や爪の艶がない、動悸、頭がフラフラする、食欲がない、腹脹、倦怠感、力が出ない、舌質淡、舌苔白、脈細弱無力

4 選穴

基本穴として陽白から魚腰穴への透刺、太陽穴、四白、迎香、頬車、地倉、合谷から選穴する

患部に通る経絡(例え胃経、胆経)の遠位穴:足三里、上巨虚、内庭、厲兌、陽陵泉、足陰竅から選穴する

各「証」に対応する穴を加味する

- 1 風痰阻絡:豊隆、中脘、足三里、脾俞
- 2 陰虚陽亢生風:三陰交、腎俞、太溪、風池、行間
- 3 肝鬱化火生風:太衝、百会、便秘がある場合:支溝、上巨虚、痰熱がある場合:豊隆、中脘、

厲兌

4 気滞血瘀:太衝、血海、膈兪

5 気血不足:脾兪、足三里、三陰交、心兪、膈兪

5 治療に関する留意点

過度の運動訓練や低周波電気刺激は、病的共同運動※などを誘発する恐れがあるため、治療する際に経穴の選択と刺激の強さへの留意が必要。患部に直接刺すよりは、患部に通る経絡の遠位穴を使用したほうが安全で効果的な場合がある（足三里、内庭など）

※病的共同運動とは、再生してきた顔面神経の過誤支配、すなわちもともと支配していた表情筋と違う表情筋に顔面神経が迷入して発症し、眼をつぶると口が一緒に動いたり、口を動かすと眼が閉じたりする顔面の不随意運動